

芦別最後の坑内掘炭鉱の閉山^[三井芦別炭鉱1992年閉山]から30年をへて、細部まで明らかにされた
〈炭鉱内部の仕事〉〈賃金〉〈労働者の移入や移出〉
〈事故の発生状況〉、そして〈住まい〉や〈学校〉
〈女性たちの活動〉……。

気鋭の研究者ら9人による最新の研究成果にもとづく
〈炭鉱研究〉〈地域史研究〉の比類なき一冊
2024年
1月中旬刊行
口絵52頁〈昭和の写真100枚収録〉



芦別炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史

〈編著〉 嶋崎尚子・西城戸誠・長谷山隆博

(早稲田大学文学学術院教授) (早稲田大学文学学術院教授) (星の降る里百年記念館アドバイザー)

B5判／並製／
340頁(口絵52頁)／
定価:本体4000円+税
ISBN978-4-909281-56-2 C0036

〈主な内容〉

- 〈写真記録〉昭和の芦別……………長谷山隆博編
- 〈第1章〉石炭と電力のマチ
——国産エネルギー供給地としての芦別の歴史……………島西智輝
【コラム】芦別の中小炭鉱 島西智輝 (立教大学経済学部教授)
【コラム】ヤマを開発した実業家・投資家たち 島西智輝
- 〈第2章〉ビルド鉱三井芦別の人員確保と労働者の定着……………嶋崎尚子
【コラム】三井芦別の社宅建設と炭住街の形成 嶋崎尚子
- 〈第3章〉ビルド鉱の衰退と閉山——芦別を去る人・留まる人……………嶋崎尚子
【コラム】改良住宅への建替えと炭住生活の変貌 嶋崎尚子
- 〈第4章〉樺太引揚者の足跡から辿る戦後の芦別と石炭産業……………坂田勝彦
【コラム】炭鉱間移動と「ヤマの仲間」 嶋崎尚子 (群馬大学情報学部教授)
- 〈第5章〉炭鉱の学校と子ども……………笠原良太
(実践女子大学生活科学部専任講師)
- 〈第6章〉三井芦別炭鉱での仕事……………清水拓
(早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員)
【コラム】明治期の炭鉱開発と炭鉱労働者 長谷山隆博
【コラム】戦時下の炭鉱開発と炭鉱労働者 長谷山隆博

- 〈第7章〉災害報告から読む三井芦別炭鉱の事故……………長谷山隆博
【コラム】三井芦別の労働生活 島西智輝
【コラム】石炭運送と鉄道 長谷山隆博
- 〈第8章〉三井芦別労働組合と精妙な賃金体系……………中澤秀雄
【コラム】三井芦別と北日本精機 島西智輝 (上智大学総合人間科学部教授)
- 〈第9章〉炭鉱町から地方都市へ
——戦後芦別市の地域産業構造と社会移動の変遷……………新藤慶
【コラム】芦別支店、芦別営業所、芦別鉱業所 新藤慶 (群馬大学共同教育学部准教授)
- 〈第10章〉芦別で働いた人たち
——芦別出身者と転入者の比較を通して……………新藤慶
【コラム】炭鉱全盛期の飲食店 長谷山隆博
- 〈第11章〉芦別の女性たちの組織活動
——主婦会・婦人会、生活学校を中心として……………西城戸誠
【コラム】炭鉱と農業——炭鉱周辺の農業従事者 西城戸誠
- 〈終章〉炭鉱は芦別に何を残したのか——まとめにかえて……………西城戸誠

*本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約(ご注文)をお願いします。

ご注文は下記にご記入の上→寿郎社 FAX011-708-8566

注文票

	●発行 寿郎社	●発注日 月 日	●備考
	●書店名	●注文数 <input type="text"/>	●編著者名 嶋崎尚子・西城戸誠・長谷山隆博
●御担当者名	冊	●書名 芦別——炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史	●ISBN 978-4-909281-56-2 C0036
		●定価: 本体 4000円 + 税	